

平成28年7月29日公告

「野里小学校昇降機備工事」

設計図面の一部に表記誤りがありました、再度ご確認ください。

修正図面番号

図面番号	図面名称
No.3	昇降機設備 特記仕様

エレベーター仕様		
一 般 事 項	台 数	1台（普通型・標準型なし）
	用 途	乗用（身体障害者乗用機）
	積 載 量	900kg
	定 員	13名
	制 動 方 式	可変電圧・可変周波数制動方式
	運 転 方 式	乗合全自動方式（ロープ式）
	定 速 速 度	4.5m/min
	停 止 速 度	1～4mm（4種別）
	動 力 用 電 源	AC 3φ3W 210V 60Hz
	制 動 用 電 源	AC 1φ2W 105V 60Hz
機 構 部	電 機 機 器	AC 3φ3W 210V 設置場所 昇降機内1FL以上
	昇 降 寸 法	全 高 18640mm オーバーヘッド 3200mm以上 昇降機 11190mm ピット深さ 1250mm以上
	か ご 寸 法	内 装 開口 1600mm× 奥行 1350mm 出入口幅 900mm 出入口高 2100mm
	戸 形 式	電動2枚戸中央開き
	主 索	φ10mm×3本以上 JIS G 3525（ワイヤロープ）又は JIS G 3546（異形鋼ワイヤロープ）又は、国土交通大臣の認定を受けたもの （ただし、維持管理コストが上がるものは除く。）
	レ ー ル	「鋼仕」参照
	鉄 骨 骨 格	「鋼仕」参照
	通 風 装 置	インターホン
	電動機及び制御盤	設置場所 昇降機内1FL以上
	三 方 弁	鋼製鋼製機上 1.6mm以上 小弁
仕 様	扉	鋼入りガラス扉付（上端床より1800mmから幅200mm以上、高さ700mm以上）
	扉 材	「鋼仕」参照
	インジケータ	ステンレスヘアライン仕上
	呼 ボ タ ン	「鋼仕」参照
	天井及び側板	「鋼仕」参照
	主 索 作 業	「鋼仕」参照
	インジケータ	ステンレスヘアライン仕上
	扉	「鋼仕」参照
	扉	「鋼仕」参照
	そ の 他	案内放送用スピーカは不要。

- 注（１） 建築基準法施行令の一部を改正する政令（平成20年政令第90号）を踏襲しており、  
国土交通大臣の認定を取得していること。
- 注（２） 下記の建築基準法施行令の一部を改正する政令を踏襲しており国土交通大臣の認定を取得  
していること。
- ・第129条の4第3項第5号（告示第1048号）
  - ・第129条の4第3項第6号（告示第1047号）

特 定 事 項	自動乗降正装置（乗床精度±10mm以内）
	作動機作動装置
	地震時作動装置（地震（強揺・弱揺）（特設装置は別記））
	火災時作動装置（手動方式 火災時呼出しボタン（スイッチ装置は別記））
	閉じ込め時スタート装置
	警報装置の主作動装置の表示は「停電」「地震」「火災」が設置できること。
	かごは基準（1階）使用とする。
	かご内、戸開時開きボタン
	パーキングスイッチ 基準（1階）設置
	インターホンは、乗客、警報作動装置の2箇所設置する。（総機E-M-O-P-E-O-9-S-P-E） 「大阪府福祉のまちづくり条例」及び「大阪府ひとにやさしいまちづくり条例」（平成25年4月）に準拠すること。
機 構 部	設置設計に關しては「昇降機製造設計・施工指針（2014年版）」（（財）日本建築設備・昇降機センター（社）日本エレベーター協会）に準拠するものとし、設計用標準速度は対象クラスAとする。
	常速式機・非常速式機（降速性）
	地上電線機・電線機及び制御盤の設置は、1階FL以上とする。
	乗床底とかご底とのすき間は20mm以内とする。
	かご内照明の設置位置は、かご中央床面から1m以上の位置において、200lx以上とする。
	各階のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。
	サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

ご 使 用 法

作動機作動装置

1. 作動機作動装置を押してください。

2. 閉じ込め時スタート装置を押してください。

3. 警報装置を押してください。

4. 地震時作動装置を押してください。

5. 火災時呼出しボタンを押してください。

6. 閉じ込め時スタート装置を押してください。

7. 乗客のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。

8. サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

9. 乗客のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。

10. サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

ご 使 用 法

1. 作動機作動装置を押してください。

2. 閉じ込め時スタート装置を押してください。

3. 警報装置を押してください。

4. 地震時作動装置を押してください。

5. 火災時呼出しボタンを押してください。

6. 閉じ込め時スタート装置を押してください。

7. 乗客のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。

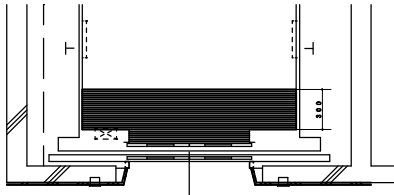
8. サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

9. 乗客のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。

10. サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

かご内注意事項板

付 属 仕 様（身体障害者乗用機）	自動開閉装置	両側セーフティシュー（光電式2重（200mm、600mm程度）又は多光電式）
	かご内装	金属製平滑板を約0.5～0.7mm以上、他の下層は床面から0.5m程度 上層は床面から1.0m程度を平滑板に設置すること。
	キャブプレート	かご内の扉面及び側面にキャブプレート（厚さ1.5mm以上のステンレスヘアライン仕上） を床より300mmの高さまで取り付ける。
	自 動 開 閉 装 置	音声により、昇降機方向案内、到着案内、戸開閉案内、乗り過ぎ案内、非常事態等を通報すること。
	警報装置	国際赤十字シンボルマークを専用装置ボタン及び作動機の下に設置すること。
	かご内乗降作動装置	行き先ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。
	非常作動装置	かごの設置（どちらか一方）及びかごが停止する予定の階を短縮すること。
	かご内乗降作動装置	非常時にかご外部との連絡を行うための専用装置のどちらか一方に インターホンを設置すること。
	乗客ボタン	ボタンは床面から1m程度の高さに設置すること。
	注 意 事 項	各ボタンは、操作性が良く操作しやすい押し込みボタンとし、文字付きボタンとする。
機 構 部	かご内手すり	ステンレス手すり（2方向）を高さ800mm程度の位置に設置すること。
	かご底材	かごの底材は鋼製（2方向）を高さ800mm程度の位置に設置すること。 （ただし、鋼製以外の底材は鋼製の底材と接触するものとする。）
	乗客ボタン	かご内乗降作動装置、かご内乗降作動装置、 乗客ボタン（専用、専用）の各ボタン、乗客ボタンの表示、 キャブプレートとフェースプレートに設置する場合は、キャブプレートとフェースプレートがフラットに なるように設置すること。または、フェースプレートへの設置は鋼製でも可とする。
	専用	高さ1m程度の位置に設置し、大きくて操作しやすいものとする。
	乗客ボタン	ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。
	乗客ボタン	ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。
	乗客ボタン	ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。
	乗客ボタン	ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。
	乗客ボタン	ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。
	乗客ボタン	ボタンを押すことにより扉の開閉時間を10秒程度短縮すること。



かご底材 参考図 1:20

ご 使 用 法

1. 作動機作動装置を押してください。

2. 閉じ込め時スタート装置を押してください。

3. 警報装置を押してください。

4. 地震時作動装置を押してください。

5. 火災時呼出しボタンを押してください。

6. 閉じ込め時スタート装置を押してください。

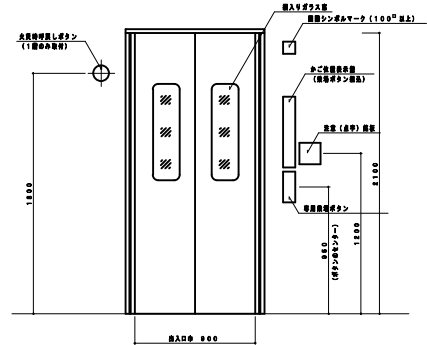
7. 乗客のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。

8. サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

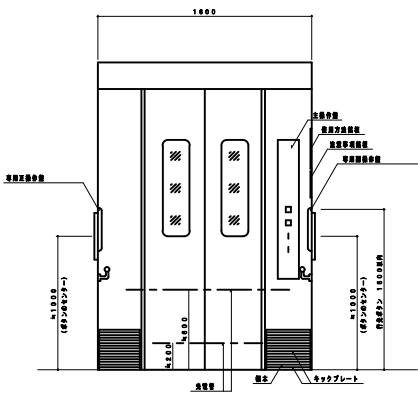
9. 乗客のシンボル・案内表示は参考を参照。乗客のシンボル・案内にあわせて内容を変更し監視員の承認を受けること。

10. サービスマン用リフト機能（最上層のみ）

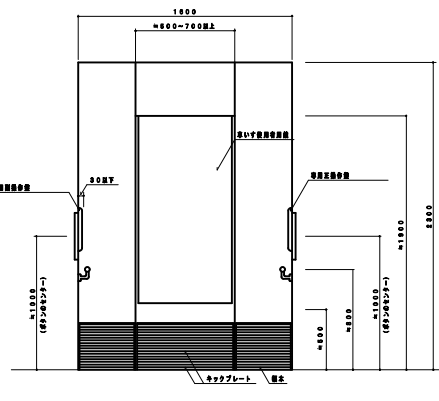
乗客注意（点字）板



乗客注意 1:20



かご内正面図 1:20



かご内側面図 1:20

工事名称	野里小学校昇降機設備工事	平成25年度
図面名称	昇降機設備 特設仕様	図面サイズ: A1
縮 尺	1:20	図面番号: No.04 (05枚の内)
大阪府都市整備局公共施設部 企画設計課(設備グループ)		株式会社 新日本設備計画
製 図 者	新日本設備計画	製 図 者
製 図 日	平成26年 4月	製 図 日
製 図 場所	大阪府 野里町	製 図 場所
製 図 人	新日本設備計画	製 図 人
製 図 機	新日本設備計画	製 図 機